

第6回



eco products awards  
2009

# エコプロダクツ大賞

2009.12.10

主催/エコプロダクツ大賞推進協議会 後援/財務省・厚生労働省・農林水産省・経済産業省・国土交通省・環境省  
<http://www.gef.or.jp/ecoproducts/>

# 持続可能な未来を見つめて

## ～エコプロダクツで社会を変える～

エコプロダクツが社会に広く受け入れられ、私たちの暮らしの中に深く浸透していくことは、社会経済活動を環境配慮型のものへと変革していく大きなきっかけの一つになります。このため持続可能な社会の実現をめざすわが国には、今後、エコプロダクツがさらに普及していくことが期待されています。またその中では、具体的に環境配慮が盛り込まれることはもちろん、独創性にあふれ、しかも事業者や消費者、投資家さらには市場関係者からも高い評価を受ける、エコプロダクツが求められています。エコプロダクツ大賞推進協議会は、すぐれたエコプロダクツの表彰を通じて、エコプロダクツの普及に貢献したいと考えています。

## エコプロダクツ大賞推進協議会とは

「エコプロダクツ大賞推進協議会」は、環境負荷の低減に配慮した製品・サービス（いわゆるエコプロダクツ）をさらにわが国に普及させるため、具体的にすぐれた環境配慮が組み込まれるとともに、独創性にあふれ、しかも社会的にも評価の高いエコプロダクツを表彰する「エコプロダクツ大賞」の実施などを通じて、わが国におけるエコプロダクツの振興・発展を図ることを目的に、エコプロダクツに関わりの深い民間団体が連携して2004年7月に設立されました。

## エコプロダクツ大賞推進協議会の事業内容は

- すぐれたエコプロダクツを顕彰する「エコプロダクツ大賞」の実施
- エコプロダクツ大賞を受賞した製品・サービスの普及促進を図るための広報活動
- その他、推進協議会の目的を達成するために必要な活動

## エコプロダクツ大賞推進協議会の会員は

エコプロダクツ大賞推進協議会は、推進協議会の事業目的に賛同する民間団体及び地方公共団体等で構成されます。なお、2009年12月現在の会員は、財団法人 地球・人間環境フォーラム  
社団法人 産業環境管理協会  
交通エコロジー・モビリティ財団  
社団法人 日本有機資源協会 の4団体です。

## エコプロダクツ大賞推進協議会の役員構成は

|     |                              |
|-----|------------------------------|
| 会長  | 森島 昭夫 (名古屋大学名誉教授)            |
| 副会長 | 炭谷 茂 (財団法人 地球・人間環境フォーラム理事長)  |
| 副会長 | 南 直哉 (社団法人 産業環境管理協会会長)       |
| 副会長 | 与田 俊和 (交通エコロジー・モビリティ財団理事長)   |
| 副会長 | 兒玉 徹 (社団法人 日本有機資源協会会長) (順不同) |

## 目次

|                   |   |
|-------------------|---|
| 第6回 エコプロダクツ大賞について | 2 |
| 審査委員長講評           | 4 |

## エコプロダクツ大賞(関係省大臣賞)

### エコプロダクツ部門

|         |   |   |
|---------|---|---|
| 農林水産大臣賞 | ベストカップルハウス  | 5 |
| 経済産業大臣賞 | 低炭素社会の交通ネットワーク実現に貢献する、<br>電動ハイブリッド自転車「eneloop bike“CY-SPA226”」と<br>「ソーラー駐輪場」の開発 | 6 |
| 国土交通大臣賞 | アイドリングストップ機構「i-stop (アイ・ストップ)」<br>マツダ アクセラ(DBA-BLEFW)、マツダ ビアンテ(DBA-CCEFV)に搭載    | 7 |
| 環境大臣賞   | 家庭用燃料電池「エネファーム」   | 8 |

### エコサービス部門

|         |  |    |
|---------|--|----|
| 農林水産大臣賞 | 次世代省CO <sub>2</sub> ハウス・ハイブリッドエコウィンハウスの<br>全国普及コンソーシアム「チームエコウィン」 | 9  |
| 経済産業大臣賞 | エコ バリュー パック  | 10 |
| 環境大臣賞   | Ecoバイク「旅チャリ」   | 11 |

## エコプロダクツ大賞推進協議会会長賞(優秀賞)

### エコプロダクツ部門

|   |    |
|---|----|
| 太陽光照明システム ソーラチューブ<br>160DS、290DS(ブライhtonアップシリーズ)／330DS、750DS(ソーラマスターシリーズ) | 12 |
| 「グリーンファースト」工業化住宅(戸建て住宅)   | 12 |
| 安全性と長寿命を追求した二次電池「SCiB™」   | 13 |
| 循環式軽量水辺緑化システム「クールパレットシステム」  | 13 |
| デジタル補聴器 ONWA モデルKJ・LJ・MJ(WH-216KJ他17機種)                                   | 14 |
| 国産材(間伐材)パネル・Jパネル端材を再利用した遊具「J・ブロック」  | 14 |
| HiTES(ハイテス)タイヤ空気圧モニタリングシステム   | 15 |

### エコサービス部門

|   |    |
|---|----|
| カーボンオフセット導入環境配慮型周遊券「箱根旧街道・1号線きっぷ」   | 15 |
| インクカートリッジ里帰りプロジェクト  | 16 |
| ヨシでびわ湖を守ろう～ReEDENプロジェクト～  | 16 |
| ビジネスホテルにおける「エコひいき」(連泊のお客様が未清掃の場合ノベルティのプレゼント)<br>および「エコ泊」(一部店舗でカーボンオフセット)の導入 | 17 |
| 「リフォームローンecoプラン」～住まいのエコリフォームと生物多様性保全を応援                                     | 17 |
| 使用済み竹割箸の竹炭リサイクル   | 18 |

## 審査委員長特別賞(奨励賞)

### エコプロダクツ部門

|                                 |    |
|---------------------------------|----|
| ヘックメック(未来の子供たちにエコ心を伝える、教える)HM01 | 18 |
| プレーリールーフ                        | 19 |
| バイオマスマネキン                       | 19 |

### エコサービス部門

|                              |    |
|------------------------------|----|
| エネルギー・マネジメント・ソリューション「見えタロー®」 | 20 |
| 期限切れ等で廃棄される未開封飲料のリサイクル処理サービス | 20 |

# エコプロダクツ大賞について

## 1 趣旨・目的

企業等による環境負荷の低減に配慮した製品またはサービス(エコプロダクツ)の開発・製品化への取り組みが広がる一方、エコプロダクツが社会に広く受け入れられ、私たちの生活の中に深く浸透していくことは、社会経済活動を環境配慮型のものへと変革していく大きなきっかけの一つになります。このため持続可能な社会の実現をめざすわが国においては、今後、具体的な環境配慮が盛り込まれていることはもちろん、獨創性にあふれ、しかも事業者や消費者、投資家、市場関係者からも高い評価を受ける、すぐれたエコプロダクツがさらに普及していくことが期待されています。

「エコプロダクツ大賞」はこのような状況を背景に、すぐれたエコプロダクツを表彰することによって、それらに関する情報を需要者サイドに広く伝えるとともに、それらの供給者である企業等の取り組みを支援することで、わが国におけるエコプロダクツのさらなる開発・普及を図ることを目的に、2004年度に創設されたものです。

これまで本表彰制度において大賞、優秀賞及び奨励賞を受賞した企業・団体においては、受賞によって受賞製品や企業・団体の知名度や認知度、ブランド価値が高まり、ほとんどの受賞者が受賞結果をパンフレット等に記載したり、広告や営業活動等に積極的に利用しており、本表彰制度がエコプロダクツの普及に大きな役割を果たしたことが明らかとなっています。

奨励賞は、第2回から、中小企業のエコプロダクツへの取り組みを奨励するために、審査委員長特別賞(奨励賞)として設けられているものです。

## 2 募集対象

エコプロダクツ部門は、日本国内においてすでに市場に提供されている製品としました。ただし、応募時点で市場に提供されていない製品であっても、審査開始時に製品の確認ができ、審査結果発表時までに市場に提供されることが確実なものについては応募を受け付けました。

エコサービス部門は、日本国内において応募時点でサービス提供開始から6ヵ月以上の実績を有するサービスとしました。また、一般消費者向けの製品・サービスはもちろん、B to Bも対象としました。なお、過去のエコプロダクツ大賞において受賞したものと同一の製品・サービスは対象外としました。

## 3 表彰部門・賞の種類

### ① 表彰部門

「エコプロダクツ部門」

環境負荷の低減を目的に、さまざまな技術や手法等を活用するなどして開発され、日本国内市場において製品化(提供)されているもの。

「エコサービス部門」

わが国の社会経済を取り巻く環境問題に対して環境負荷の低減を目的に提供されているサービス、あるいは持続可能なビジネスモデルを創出して環境負荷の低減を図っている新たな環境配慮型のサービスであって、日本市場に導入されているもの。

### ② 賞の種類

上記の二つの部門に対してそれぞれ、下記のエコプロダクツ大賞(関係省大臣賞)及びエコプロダクツ大賞推進協議会会長賞(優秀賞)、審査委員長特別賞(奨励賞)が授与されます(該当がない場合もあります)。

#### ●エコプロダクツ大賞(関係省大臣賞)

- ・財務大臣賞 <賞状、副賞>
- ・厚生労働大臣賞 <賞状、副賞>
- ・農林水産大臣賞 <賞状、副賞>
- ・経済産業大臣賞 <賞状、副賞>
- ・国土交通大臣賞 <賞状、副賞>
- ・環境大臣賞 <賞状、副賞>

#### ●エコプロダクツ大賞推進協議会会長賞(優秀賞)(賞状)

#### ●審査委員長特別賞(奨励賞)(賞状)

## 4 審査基準

審査は、下記の「審査にあたっての基本的考え方」を踏まえた上、すぐれていると評価されるエコプロダクツ・エコサービスを選考しています。

- 当該エコプロダクツ・エコサービスの導入による環境負荷の低減が明らかなものであること
- 事業者や消費者、投資家、市場関係者等による一定の評価が得られているエコプロダクツ・エコサービスであること
- 利用しようとする者が国内市場において容易に供給やサービスを受けられるエコプロダクツ・エコサービスであること
- 環境教育的効果が認められる等、持続可能な社会づくりへ向けた社会意識の向上に資するエコプロダクツ・エコサービスであること

## 5 審査方法

応募案件は、予備選考を経た後、エコプロダクツ大賞推進協議会に設置した審査委員会において最終審査を行います。

### 審査委員

|     |       |                                |
|-----|-------|--------------------------------|
| 委員長 | 石谷 久  | 東京大学名誉教授                       |
| 委員  | 石飛 博之 | 環境省総合環境政策局環境経済課長               |
|     | 遠藤 順也 | 農林水産省大臣官房環境バイオマス政策課バイオマス推進室長   |
|     | 大塚 洋  | 国土交通省総合政策局環境政策課長               |
|     | 木下 賢志 | 厚生労働省医政局経済課長                   |
|     | 辰巳 菊子 | 社団法人日本消費生活アドバイザー・コンサルタント協会常任理事 |
|     | 藤村コノエ | NPO法人環境文明21 共同代表               |
|     | 椋田 哲史 | 社団法人日本経済団体連合会常務理事              |
|     | 村田 有  | 経済産業省産業技術環境局環境調和産業推進室長         |
|     | 山名 規雄 | 国税庁課税部酒税課長                     |
|     | 山本 良一 | 東京大学生産技術研究所教授                  |

(委員長を除く氏名の五十音順)

## 6 応募状況・審査結果

エコプロダクツ大賞は、「エコプロダクツ部門」と「エコサービス部門」で構成されますが、今回の大賞では「エコプロダクツ部門」123件、「エコサービス部門」37件のあわせて160件を審査対象としました。

エコプロダクツ大賞推進協議会内に設置された審査委員会(審査委員長:石谷 久/東京大学名誉教授)における審査の結果、もっともすぐれたエコプロダクツとして、エコプロダクツ部門において農林水産大臣賞、経済産業大臣賞、国土交通大臣賞、環境大臣賞の4件の大賞が、エコサービス部門において農林水産大臣賞、経済産業大臣賞、環境大臣賞の3件の大賞が、それぞれ決まりました。

また、大賞に次いですぐれたエコプロダクツとして、エコプロダクツ部門で7件、エコサービス部門で6件がエコプロダクツ大賞推進協議会会長賞(優秀賞)に決まりました。さらに、中小企業からの応募案件を対象にした審査委員長特別賞(奨励賞)として、エコプロダクツ部門3件、エコサービス部門2件が表彰されることとなりました。審査結果は右記の通りです。

### エコプロダクツ部門

#### 農林水産大臣賞

ベストカップルハウス 株式会社 グリーンシステム

#### 経済産業大臣賞

低炭素社会の交通ネットワーク実現に貢献する、電動ハイブリッド自転車「eneloop bike「CY-SPA226」と「ソーラー駐輪場」の開発  
三洋電機株式会社

#### 国土交通大臣賞

アイドリングストップ機構「i-stop(アイ・ストップ)」  
マツダアクセラ(DBA-BLEFW)、マツダ ビアンテ(DBA-CCEFV)に搭載 マツダ株式会社

#### 環境大臣賞

家庭用燃料電池「エネファーム」  
東ガス株式会社、大阪ガス株式会社、東邦ガス株式会社、新日本石油株式会社、パナソニック株式会社、東芝燃料電池システム株式会社、株式会社長府製作所、株式会社ENEOSセルテック(8社共同)  
(以上、関係省大臣賞4件)

#### エコプロダクツ大賞推進協議会会長賞(優秀賞)

太陽光照明システム ソーラチューブ  
160DS,290DS(ブライトンアップシリーズ)/330DS,750DS(ソーラマスターシリーズ)  
ウシオライティング株式会社、株式会社井之商(2社共同)  
「グリーンファースト」工業化住宅(戸建て住宅) 積水ハウス株式会社  
安全性と長寿命を追求した二次電池「SCiB™」 株式会社 東芝  
循環式軽量水辺緑化システム「クールパレットシステム」 東邦レオ株式会社  
デジタル補聴器 ONWA モデルKJ・LJ・MJ  
(WH-216KJ 他17機種) パナソニック四国エレクトロニクス株式会社  
国産材(間伐材)パネル・Jパネル端材を再利用した遊具「J・ブロック」  
本庄工業株式会社  
HTES(ハイテス)タイヤ空気圧モニタリングシステム 横浜ゴム株式会社  
(以上、エコプロダクツ大賞推進協議会会長賞7件)

#### 審査委員長特別賞(奨励賞)

ヘックメック(未来の子供たちにエコ心を伝える、教える)HM01 三惠工業株式会社  
プレーリールーフ 中国電機製造株式会社  
バイオマスマネキン 株式会社ヤマトマネキン  
(以上、審査委員長特別賞3件)

### エコサービス部門

#### 農林水産大臣賞

次世代省CO<sub>2</sub>ハウス・ハイブリッドエコウインハウスの全国普及コンソーシアム  
「チームエコウイン」 一級建築士事務所 有限会社ロクス

#### 経済産業大臣賞

エコバリュー バック 株式会社ブリヂストン

#### 環境大臣賞

Ecoバイク「旅チャリ」 株式会社JTB首都圏、パナソニックサイクルテック株式会社(2社共同)  
(以上、関係省大臣賞3件)

#### エコプロダクツ大賞推進協議会会長賞(優秀賞)

カーボンオフセット導入環境配慮型周遊券「箱根旧街道1号線きっぷ」  
小田急電鉄株式会社 箱根登山鉄道株式会社、箱根登山バス株式会社(3社共同)  
インクカートリッジ里帰りプロジェクト  
ブラザー、キヤノン、デル、エプソン、日本HP、レックスマーク(6社共同)  
ヨシでびわ湖を守ろう～ReEDENプロジェクト～ 株式会社ココエ工業滋賀  
ビジネスホテルにおける「エコひいき」(連泊のお客様が未清掃の場合ノベルティのプレゼント)  
および「エコ泊」(一部店舗でカーボンオフセット)の導入 株式会社スーパーホテル  
「リフォームローンecoプラン」～住まいのエコリフォームと生物多様性保全を応援～  
株式会社損害保険ジャパン、株式会社損保ジャパン・クレジット(2社共同)  
使用済み竹割箸の竹炭リサイクル  
パナソニックグループ労働組合連合会 休暇村 ユニピアささやま  
(以上、エコプロダクツ大賞推進協議会会長賞6件)

#### 審査委員長特別賞(奨励賞)

エネルギー・マネジメント・ソリューション「見えタロー®」 株式会社環境経営戦略研  
期限切れ等で廃棄される未開封飲料のリサイクル処理サービス  
株式会社リヴァックス  
(以上、審査委員長特別賞2件)

## エコプロダクツ大賞審査委員会 審査委員長講評

審査委員長

石谷 久  
東京大学名誉教授



リーマンショック以来の経済不況が続き我が国のCO<sub>2</sub>排出量は想像以上に減少傾向を示している様子である。確かにCO<sub>2</sub>削減は地球の将来を考えたときもっとも重要な課題であるが、我々が望んでいるのはエネルギー有効利用と革新的技術という知恵によって経済の活性を保ち、生活水準を健全に保ちながらCO<sub>2</sub>を抜本的に削減することである。その意味でエコプロダクツの推進普及は極めて重要であり、また地球環境を維持しながらこの不況から抜け出るもっとも重要な道筋といえる。政権交代と共に、我が国は極めて野心的なCO<sub>2</sub>削減目標を内外に発したが、日本の知恵と技術で地球環境保全の経済・技術の分野で日本が指導力を発揮して、その目的を達成しようと言う覚悟を示したものと見える。世間一般でも地球環境、エコに対する関心は次第に高まり、また最近ではカーボンフットプリントとかカーボンオフセットといった従来にないサービスや制度が世の中に浸透する兆しを示している。今回の応募にも早速これらを取り入れたサービスなども含まれており、今後、その普及が期待される。

個々の受賞案件は別途詳細に紹介されているが、エコプロダクツ部門では、農林水産大臣賞はエネルギー消費の大きな施設園芸用の農業ハウスの断熱効果を高めて大幅に省エネを進めたシステムが選ばれた。資材の完全リサイクルも達成している。経済産業大臣賞は電動アシスト自転車とソーラー発電利用の駐輪場のセットが受賞した。今後の排ガス抑制、低炭素社会実現のキー技術である電池、太陽電池を積極的に活用したものである。国土交通大臣賞は比較的低コストでCO<sub>2</sub>を削減するアイドリングストップのシステムが選ばれた。また環境大臣賞は家庭用燃料電池コジェネシステムが製造、販売関連8社を対象に選ばれた。燃料電池はクリーンな低炭素化技術として将来、期待さ

れる技術であるが、コストと耐久性など実用化への課題克服が必要とされる。その中で我が国は世界に先駆けて市場投入を果たし、国と関連企業の努力によってその市場拡大が進められている。

他方、エコサービス部門では、まず農林水産大臣賞に地産地消を目指して地元木材を利用した省エネ住宅を開発設計、さらにこれを広く普及するためのコンソーシアムを設立したサービス活動が選ばれた。地域経済活性化と省エネCO<sub>2</sub>削減を達成するものと評価された。経済産業大臣賞は自動車用タイヤのリユース、リサイクルシステムが選定された。省エネ、省資源に貢献するばかりでなく経費削減も達成可能ないわゆるWin-Winのエコサービスといえる。また環境大臣賞は電動アシスト自転車のリースシステムが選ばれた。エコプロダクツ部門の経済産業大臣賞と類似した対象であるが、こちらは観光地の業者向けリースサービスが対象であり、傷害保険などの付帯サービスと使用後のリサイクルもセットで組み込まれ、地域産業活性化と環境負荷低減に資するものと考えられる。その他、会長賞、奨励賞などいずれも省エネ、省資源、並びに地域環境改善に資する対象が多数選定された。

前述の環境問題への関心の高まりを反映して今回の受賞対象以外にも優れた製品、サービスが続々と現れようとしている。他方でこの大賞についての応募は、ほぼ例年通りの水準を維持しているものの社会の関心に比べてやや物足りないという印象はぬぐえない。本賞受賞は対象の製品サービスが客観的に認められてそのPRに資するばかりでなく、企業自体の評価にも反映されるので、企業側からのさらに積極的な応募を期待する。そのために本賞自体のプロモーションも必要であり、こういった活動を通じてエコプロダクツ、エコサービスの一層の進展がさらに推進されることを望むものである。

農林水産大臣賞

名称

次世代省CO<sub>2</sub>ハウス・ハイブリッドエコウィンハウスの  
全国普及コンソーシアム「チームエコウィン」

会社名・事業所名

一級建築士事務所 有限会社ロクス



出品者  
アピール

地球温暖化の現状に強い危機感を抱き、「子供たちの未来にこの豊かな環境を繋げたい」と一つの志を掲げ、省エネルギー住宅と環境に配慮した持続可能な住宅供給の仕組みを開発した。従来の住宅供給のあり方や方法を見直し、「LOHASな暮らし」をコンセプトに、製造過程におけるCO<sub>2</sub>削減と固定化、健康快適に暮らしながら、エコなライフスタイルを実現することを目的とした。我々が見出した一つの答えが、地産地消による次世代省エネルギー住宅、「ハイブリッドエコウィンハウス」である。温暖化抑制にスピードとパワーを実現するため、家づくりの仕組みをパッケージ化し、想いを共有する地域工務店と連携「チームエコウィン」というコンソーシアムを形成し、広く地域社会にエコウィンハウスを普及。安全安心でエコな住環境をユーザーに提供しながら、地域雇用の創出、建築技術の継承、地域経済の活性化、チームでの植林活動など、経済の発展と地球環境を守る家づくりを全国に展開している。

評価

ハイブリッドエコウィンハウスは地元県産木材を利用し、地元の建材、地元の大工の手によって建設される「地産地消」の住宅であり、地域の工務店の建設する住宅でありながら、大手同等の性能・技術を導入し、住宅性能表示における耐震ランクの最高耐震等級3とともに、温熱環境で次世代省エネルギー基準の型式認定も取得し、第三者機関による住宅性能表示制度の評価を取得している点を評価した。

また、移送エネルギーの大幅な削減と、地元木材を最大限に利用することによってCO<sub>2</sub>の固定化を図り、地域経済の活性化、建築技術の継承及び雇用の創出を可能とし、環境に対し負荷のない家づくりを実現するモデルと見なされる点を評価した。

名称 **太陽光照明システム ソーラチューブ** 160DS、290DS (ブライツアップシリーズ) / 330DS、750DS (ソーラマスターシリーズ)

会社名・事業所名 **ウシオライティング株式会社、株式会社井之商** (2社共同)

**出品者  
アピール**

「太陽光照明システム SOLATUBE (ソーラチューブ)」は、無限に降り注ぐ太陽光を屋根面より採光し、照明用として有効利用するという、ユニークな発想から生まれた独創的な製品である。電力消費「0」の新たな省エネ照明として、省資源、CO<sub>2</sub>排出量の低減、電気代節約などに貢献する。

原理的には、屋根面に設置した「ドーム」が太陽光を効率よく採光、集光し、屋根裏などに設置した「チューブ」の中で光を反射させ、「散光カバー」が屋内に柔らかい自然光を提供するというシンプルなものである。

複雑な配線工事や設置後のメンテナン

スは不要で、夜間、雨天に備えて、補助用光源を設置することもできる。

また、産業用としては、商業施設、倉庫、工場、物流センターなどにも対応できる。

今後は、省エネ、環境負荷低減の観点から、さらに一歩踏み込み、ゼロエネルギー照明製品展開を進めていく。

**評価**

屋根に降り注いだ太陽光を集光装置と反射チューブによって屋内に取り込み、室内の照明に利用するとして独創的な環境対応製品。

太陽光を屋内に取り込み、照明用として有効利用するということで、新たな省エネ照明として、省資源、CO<sub>2</sub>削減をはじめとする環境負荷低減、電気代節約などに貢献できることを評価した。

家庭用では新築、リフォーム時だけでなく、後づけも可能で、電気をまったく使用しないことから複雑な配線工事や設置後のメンテナンスも不要、産業用としては商業施設、倉庫、工場、物流センターなどにも対応でき、その可能性も評価。



名称 **「グリーンファースト」工業化住宅(戸建て住宅)**

会社名・事業所名 **積水ハウス株式会社**

**出品者  
アピール**

生活者が①快適な暮らし②光熱費を削減できる暮らし③環境に優しい暮らしを享受できる環境配慮型の戸建住宅。通風採光に配慮したエコプランを基本に、高断熱気密仕様の建物本体と高効率給湯器や

高効率エアコン、また非白熱灯照明などによる「省エネ性能」と、燃料電池・太陽光発電システムによる「創エネ性能」により、特別な努力なくCO<sub>2</sub>削減50～100% (創エネによるオフセット考慮)と光熱費削減50～90% (建て替え前の家

据えた長期優良住宅認定対応を標準仕様とすることや、独自の中古住宅再生流通システム「エパループ」も同時に運用している。

**評価**

自然にやさしい空間設計と高度な省エネ・創エネ技術を組み合わせることで、快適に暮らしながら、光熱費を抑えられ、居住時のCO<sub>2</sub>排出量を大幅に削減し、温暖化防止に貢献する環境配慮型住宅である。通風・陽射しなどをうまく活用し、周りの自然との共存を目指す庭づくりを提案し、建物外観のデザイン性を損なわない瓦一体型の太陽光発電システムまたは家庭用燃料電池エネファームを搭載している。資源循環、省エネ化のみならず、木材の原料調達の仕事みを構築するなど、同社が長年培ってきた環境技術を反映した優れたエコプロダクツである。



／1990年までに建築された旧省エネ仕様の木造住宅との比較)を実現できるのがポイント。

部材製造～建築～リフォームまで、住宅のライフサイクル全体でゼロエミッションを達成。また住宅の長寿命化を見

## 第5回エコプロダクツ大賞 受賞一覧

### エコプロダクツ部門

#### 農林水産大臣賞

サンマ漁船用 省エネ集魚灯 U-BEAM. eco (TAIRYO575X2D)  
ウシオライティング株式会社

#### 国土交通大臣賞

クリーンディーゼル乗用車「X-TRAIL20GT」(LDA-DNT31)  
日産自動車株式会社

#### 環境大臣賞

省電力サーバ ECO CENTER 日本電気株式会社  
(以上、関係省大臣賞3件)

### エコプロダクツ大賞推進協議会会長賞(優秀賞)

インクジェット複合機(PIXUS MP630) キヤノン株式会社  
小型スクリュ式蒸気発電機 Steam Star (MSEG100L, MSEG132L)  
株式会社神戸製鋼所

環境に配慮したパッケージを採用した国産ワイン  
(サントリーデリカメゾン デリシヤス720ml/サントリー有機栽培ぶどうの美味しいワイン。720ml)  
サントリー株式会社

エコどんぶり 日世株式会社

スマートループ対応サイバーカーナビゲーションシステム(AVIC-VH9000)  
バイオンア株式会社

ビジネスエコバイク(業務用電動ハイブリッド自転車)(BE-EPBS632S, BE-EPBU432S)  
パナソニック サイクルテック株式会社

木質床材「Eフロアー」シリーズ パナソニック電工株式会社

日立エネルギー回収システム(マイクロ水力発電システム)  
(EBS-F80H, EBS-F80M, EBS-F80L, EBS-F125) 株式会社日立産機システム

(以上、エコプロダクツ大賞推進協議会会長賞8件)

### 審査委員長特別賞(奨励賞)

再生液晶パネル使用液晶テレビ(15インチ液晶テレビ AM-P15H1)  
晩峰株式会社

産廃紙パウダーを主原料とした紙・合成樹脂混成材料 MAPKA(マブカ)  
株式会社環境経営総合研究所

屋上自然力応用遮熱シート「冷えルーフ」 株式会社サワヤ

(以上、審査委員長特別賞3件)

### エコサービス部門

#### 農林水産大臣賞

茶産地育成事業～お茶の樹を植えて地域に活気～ 株式会社伊藤園

#### 経済産業大臣賞

エコストアシステム 三洋電機株式会社

#### 環境大臣賞

遠隔省エネチューニングサービス「省エネ当番」  
(ビル空調向け省エネサービス) ダイキン工業株式会社

(以上、関係省大臣賞3件)

### エコプロダクツ大賞推進協議会会長賞(優秀賞)

積載物の梱包用荷崩れ防止ベルトによるリース・リサイクルサービス  
エコビス株式会社

カーウイングスナビゲーションシステム(情報チャンネル「あなたもエコドライブ」)  
日産自動車株式会社

農業情報管理システム「GeoMation Farm」  
日立ソフトウェアエンジニアリング株式会社

(以上、エコプロダクツ大賞推進協議会会長賞3件)

### 審査委員長特別賞(奨励賞)

環境配慮型繊維染色技術:INKMAX(染色革命)  
株式会社インクマックス

「ランプtoランプ」を目指す蛍光管リサイクル事業 株式会社ジェイ・リライツ

鶏糞焼却によるバイオマス発電 みやざきバイオマスリサイクル株式会社

(以上、審査委員長特別賞3件)



**エコプロダクツ大賞推進協議会に対するお問い合わせは**

エコプロダクツ大賞推進協議会事務局  
財団法人地球・人間環境フォーラム内  
〒113-0033 文京区本郷3-43-16成田ビル3F  
TEL. 03-3813-9735 FAX. 03-3813-9737  
E-Mail : [ecoproducts@gef.or.jp](mailto:ecoproducts@gef.or.jp)

**リサイクル適性 (A)**

この印刷物は、印刷用の紙へ  
リサイクルできます。